

新潟市在宅医療・介護連携推進事業 令和6年度業務計画書(案)

資料5-1

事業項目	令和5年度	実施基準回数	実施主体			備考		
			センター	ステーション	市			
P 現状分析・課題抽出・ 施策立案(計画)	(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	1	医療資源調査、医療資源マップ管理		○			
		2	地域医療提供体制に関する実態・意識調査		○			
		3	介護施設等における医療的ケア提供体制調査		○	○		
	C 対応策の評価の実施、 改善の実施	(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	4	ステーション業務の統括・調整、業務マニュアル更新管理		○		
			5	関係機関との連携調整・連携のしくみづくり		○		
		(ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築の推進	6	センター・ステーション会議	8回	○		
			7	在宅医療・介護連携推進協議会				○
D 対応策の実施	(ア) 在宅医療・介護連携に関する相談支援	8	医療・介護関係者の相談支援	随時	○	○		
		9	地域包括支援センターとの連携・支援			○		
		10	地域ケア会議など関係会議等への参加・情報提供			○		
	(イ) 地域住民への普及啓発	12	在宅医療・介護連携センターホームページ運営		○			
		11	働く人のための医療・介護セミナー	2回	○			
		13	医療と介護の市民講座	年6~8回 (×11ST)		○		* 動画、冊子「よくわかる医療と介護」「もしもシート」等の活用 * 『認知症の対応』、『看取りを含むACP』についての普及啓発を重点とする
		14	医療と介護の出前スクール			○		
			在宅医療・介護に関する動画・冊子を活用した普及啓発				○	
	(ウ) 医療・介護関係者の情報の共有支援、知識の習得等のための研修などの実情に応じた医療・介護関係者の支援	15	在宅医療ネットワーク情報交換会	1回	○			
		16	地域医療連携強化事業「精神科と一般科との連携を考える！」	1回	○			
		17	入退院連携のあり方検討会	2回	○			
		18	CanCanミーティング	1回	○			
		19	意思決定支援研修会	年1回 (×11ST)	○	○		
		20	ご当地連携研修会	年3~5回 年1~3回(×11ST)		○		* 新潟市医療と介護の連携ハンドブック普及・促進
21		地域看護連携強化事業	年1回 (×11ST)		○			
22		病院と在宅との連携強化事業	年1回 (×11ST)		○			
23		病院看護管理者研修	1回			○		
24	「にいがた救急連携シート」運用				○			

在宅医療・介護連携推進事業のうち、令和6年度新規事業について

■令和5年度 新規事業

事業名	進捗状況															
1 介護施設等における医療的ケア提供体制調査 (C/ST)	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関からの相談に適切に対応するため、R5.8月に介護施設調査を実施 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>特養</th> <th>老健</th> <th>介護医療院</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象数</td> <td>52</td> <td>37</td> <td>7</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>回収数</td> <td>38 (73.1%)</td> <td>25 (67.6%)</td> <td>7 (100%)</td> <td>70 (72.9%)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 今後、連携センターホームページ掲載、連携 ST よりエリア内の医療介護関係者へ情報提供を実施予定 		特養	老健	介護医療院	計	対象数	52	37	7	96	回収数	38 (73.1%)	25 (67.6%)	7 (100%)	70 (72.9%)
	特養	老健	介護医療院	計												
対象数	52	37	7	96												
回収数	38 (73.1%)	25 (67.6%)	7 (100%)	70 (72.9%)												
2 在宅医療・介護に関する動画・冊子を活用した普及啓発 (ST)	<ul style="list-style-type: none"> 「在宅医療の紹介」「ACP」「認知症」「上手な医療のかかり方」等各連携 ST がテーマを決め、動画・冊子作成を検討中 															
3 入退院連携のあり方検討会 (C/ST)	<ul style="list-style-type: none"> 急性期病院へのヒアリングを実施。病床機能の変更があり転院調整の課題がある。今後、コアメンバーでの病院間の連携と病院と在宅（施設含む）関係者の連携の課題を抽出する会を開催し検討を行う 															

■令和6年度事業 新規事業

事業名	目的・内容
1 意思決定支援研修会 (C→ST) 【事業No.19】	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度～市内全域を対象に意思決定支援研修会、連携 ST 主催のご当地連携研修会の中でも ACP をテーマに研修会を行っている。令和5年度開催予定の意思決定支援研修会では多くの申込があり非常にニーズが高い。意思決定支援の理解と実践を促し、チームでの取り組みを推進するため、連携 ST の事業として位置付ける
2 病院と在宅との連携強化事業 (ST) 【事業No.22】	<ul style="list-style-type: none"> 病床機能が他病院や在宅関係者に共有されておらず、連携のしづらさや市民への理解不足につながっている。病院の機能や特色を病院間および在宅関係者と共有することで、円滑な転院・入退院支援や市民への理解促進につなげる。また、「入退院支援のあり方検討会」で抽出された課題解決に向けた検討ができる場としても事業を実施する。